

高寿園ショートステイ

～ことぶき祭に向けて作品づくり～

10月29日(日)に予定されている「ことぶき祭」に出品する作品作りが進められています。お題は「花咲かじいさん」。日本のスタンダードな昔話です。麻布紙を濡らして、そして丸めて。乾かして貼り付けて。もう少しで完成です。「何でこんなごどすんのお!」とか「飽きたなあ～」と言われつつ、職員の苦勞が報われるまで、あと少し。



高寿園短期入所生活介護事業所～よもやま話～

介護保険制度が平成30年4月からちょっと変わります。利用者様とご家族様に関わる場所ですが、お伝えしたいと思います。

① 自己負担額の見直し(3割負担が導入されます)

3割負担といっても全員ではありませんので、ご心配なく。現在2割負担となっている方のうち「特に所得の高い層」の方達が3割負担となります。これは合計所得金額(給与収入や事業収入等から所得控除や必要経費を控除した額)が、220万円以上の方です。

例えば、純粋に収入が、一人暮らし世帯で年金収入+その他の収入が340万円以上、年金収入だけの場合は344万円以上、夫婦世帯は463万円以上の世帯の方が該当します。

② 福祉用具貸与(レンタル) 価格の見直し

現在の福祉用具のレンタルは、業者により価格が違います。今回の改正では、利用者が適正な価格で利用できるように、国が商品ごとに全国平均の貸与(レンタル)価格を公表します。皆さんが福祉用具のレンタルを利用するときには、業者の方が国の公表した価格と自社の価格を提示して説明をすることになります。

行数に限りがあるので、最後にまとめて新しいサービスを簡単に説明します。

③ 介護保険施設「介護医療院」と「共生型サービス」です

先に「介護医療院」を簡単に説明します。この施設は現在ある「介護療養病床」が廃止されるので、その代りの施設です(いろいろと違いはあるのですが、簡単に言うと…です)。

次に「共生型サービス」です。これは介護保険と障害福祉の両制度に新しく位置づけられます。例えば、障害者施設のショートステイを利用している方が65歳になると介護保険が優先されるため、馴染の施設が利用できなくなります。そんなことがなく続けて利用できるようにというサービスです。対象となるサービスは「訪問介護(ヘルパー)」「通所介護(デイサービス)」「短期入所生活介護(ショート)」が考えられています。30年の4月までは5ヶ月以上ありますので、また変わるところあると思います。あくまでも参考までにご理解ください。

照会先 高寿園指定短期入所生活介護事業所 ← 高寿園ショートの正式名称です

TEL (代)0192-55-3700 FAX 0192-55-3701

Eメール:koujukai@cocoa.ocn.ne.jp 担当 佐々木克夫 熊谷文宏 阿部久美 熊谷百合子

はまなす

～食からの発信～



ソフト食【形成食】について

食事を安全に、お召し上がりいただけますように、飲み込みが難しい状態になられた方や、食べるとむせこむ方、噛むことが困難になっている方々に対応した食形態を工夫しています。これは、主菜、副菜、添え物を、すりつぶした状態にし(フードカッターを使用します)、水分量を計量、物性に配慮しながら微調整をしてゲル化剤で安全な硬さに、急速冷却して固めます。さらに個別対応で、食べられる分量に対応をしています。全量、1/2量、1/4量に対応し、必要な方には、「とろみ」を添えます。

一食、一匙の飲み込みが、生死にかかわる場合もあります。

調理では、食味、形状、弾力、色合いなど、細かく対応をしています。ソフト食【形成食】の流し込みする型も、さまざまな工夫をしています。また、食事時の自助具、スプーンにも個別対応をして、適する用具の提供を行っています。

一日でも長く、自分の口で食べる、というあたりまえと思われていることを、維持していく。そのために、医師、歯科医師と打ち合わせを行い、介護員、看護師も口腔ケア、嚥下リハビリなどととも、日々取り組みを、続けています。



9/15敬老会のソフト食【形成食】

みずき



医務室だより

☆ 食欲の秋きたる 食べ過ぎ飲みすぎにはご注意ください ☆

暑くなるかと思いきや日差しの少ない夏も終わり、朝晩は肌寒さを感じる様な時季になりました。日中の気温差が大きくなっていくにつれて風邪をひきやすくなるもの…皆さん十分にお気を付けて下さいませ。

さて今回のお題の通り秋は美味しいものがいっぱいです。ついつい食べたり飲んだりする機会が多くなってしまいますよね? そうなると気になるのは体調、体重 etc. 今回は皆さん気になる「メタボリックシンドローム」についてのお話をしたいと思います。

メタボリックシンドロームは内臓脂肪が蓄積し生活習慣病が発症した状態の事を言います。この状態を放置してしまうと高血圧や高脂血症、糖尿病などの病気のリスクが高まり、やがては動脈硬化が進行して脳卒中(岩手は全国ワースト1位!)や心筋梗塞を招きやすくなるのです。

対策としては秋と言えば食欲と対をなす運動の秋も忘れてはいけません。内臓脂肪は蓄積しやすいが、燃焼もしやすいという特性があります。何か特別な運動を始める必要はなく、街中を歩いたり、階段を使ったりと、こまめに動くよう心掛けるだけでも減ることが確認されています。もちろん病気に備えて早めの医療機関への受診も大切です。最後に「腹八分目」と「酒は百薬の長とはいえず、万の病は酒よりこそ起れ」という言葉を送り終わりにしたいと思います。これからの時期増えるお誘い、暴飲暴食にはご注意ください!!

今回、高寿園全体研修会ではメンタルヘルスに関する研修会を行いました。自身を取り巻く様々な出来事がストレスになること、日頃からできるケア等を通じて改めて考えさせられるものが多い研修となりました。

